

* 2024 年度以前に履修登録された EJ18（教養としてのワインの知識）とは別科目になりますのでご注意ください

専門教育科目 講義科目

授業科目名	教養としてのワインの知識		科目コード	配当年次	単位
担当教員	岩田 雅子		EK56	3・4	2
科目の概要					
<p>近年ワインは日本においても非常に身近なものとなった。日常生活を彩るものとして、また、ビジネスのコミュニケーションにおいてワインを取り巻く文化の知識が役立つことがある。さらに、知識を得ることで、ワインを嗜むことやワインに関する会話を楽しむ喜びは一層大きなものとなる。</p> <p>本科目では、ワインの歴史や文化、マナーから視野を広げ、社交スキルとしての教養を高めていく。</p>					
担当教員の 実務経験等	<p>[担当教員の实務経験] イタリアソムリエ協会認定ソムリエ。イタリア現地でワインを学び、レストランにおけるワインサービスの20年の実務経験を持つ。 また、ホテル、レストランをはじめ民間企業、官公庁で接客・教養担当として、国際マナーや接客サービスを指導している。</p> <p>[実務経験に基づく項目] ワインの楽しみ方、テイasting実践、レストランやパーティにおけるグローバルマナー、ビジネスシーンにおける振る舞い方。 ワインに関する基礎知識や歴史、文化を踏まえた教養とその生かし方。</p>				
科目の到達目標					
<p>①ワインを日常生活やビジネスシーンで役立てるための「知識」を習得し「マナー」を学ぶことができる。</p> <p>②ワインを取り巻く文化や歴史を学び、教養を高めることができる。</p>					
テキスト	『最新版 ワイン完全バイブル 【第2版】』井出 勝茂(監), ナツメ社, 2021年				
テキストの読み方					
<p>①テキストに示されたワインの基本を学び、社交スキルで活かせるよう知識を得る。</p> <p>②ワインの品種や産地の知識を深め、ワインや食文化の教養を高めることを意識してテキスト内容を理解する。</p> <p>③ワインの楽しみ方の知識を得て、日常生活にも役立てる視点で学ぶ。</p>					
単位修得の方法					
<p>①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p> <p>または、</p> <p>②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。</p>					